



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.11 (Nov. 2014)



【特集：ゲームプログラミング】

- 特集「ゲームプログラミング」の編集にあたって 伊藤毅志
- 対戦型ゲームにおける戦略多様性についての StGA 法を用いた自動分析手法の提案とその評価 山本界人 他
- Heuristic Search Exploiting Non-Additive and Unit Properties for RTS-Game Unit Micromanagement Tung Nguyen 他
- 一般化三並べの拡張：目標動物の組合せ 八嶽友貴 他
- 一般化三並べの拡張：一手 p 石 ディブタラマ 他
- 難しさが手番で異なる局面でのモンテカルロ木探索の性能の改善 今川孝久 他
- 局面の局所的な類似性を利用したモンテカルロ木探索の効率化 志水 翔 他
- 将棋における投了局面の識別 竹内 章 他
- 行動評価関数を用いたモンテカルロ木探索の重点化と見落としの抑制 池田 心 他
- ペイジアンアプローチに基づくモンテカルロ木探索アルゴリズムの将棋への適用と評価 横山大作 他
- Dynamic Prediction of Minimal Trees in Large-Scale Parallel Game Tree Search Akira Ura 他
- 対局に基づいた教師データの重要度の学習 佐藤佳州 他
- 多人数性を分割した教師付き学習による四人麻雀プログラムの実現 水上直紀 他

- ネットワーク指標を用いたコンピュータ Hex 戦略の開発 高田 圭 他

- 対数線形言語モデルを用いた将棋解説文の自動生成 亀甲博貴 他

【一般論文】

- ライフログとスケジュールに基づいた未来予測提示によるタスク管理手法 竹内俊貴 他
- mod_mruby：スクリプト言語で高速かつ省メモリに拡張可能な Web サーバの機能拡張支援機構 松本亮介 他
- An Accelerated Algorithm for Solving SVP Based on Statistical Analysis Masaharu Fukase 他
- Unsupervised Clustering-based SPITters Detection Scheme Kentaroh Toyoda 他
- レビューを対象とした信頼性判断支援システムの提案 伊木 惇 他
- 角膜反射法における視線計測可能ボリュームシミュレータの開発とマルチユーザ視線インタラクションシステムへの適用 江川晃一 他
- 消費者調査に基づく電子書籍に対する意識の分析と利用促進策 渡部和雄

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Nov. 2014)

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】

- Decomposing Three Fundamental Matrices for Initializing 3-D Reconstruction from Three Views Yasushi Kanazawa 他



【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.7 No.2】

- Compact Genetic Algorithm を導入した学習分類子システムによる分類子数の削減 中田雅也 他
- EM タイプ IRT による不完全マトリクス完全化とその応用 作村建紀 他
- メタ文字を含む文字列に対する Vantage-Point 木を用いた類似文字列検索 森川浩司 他

- A GPU Implementation of a Bit-Parallel Algorithm for Computing the Longest Common Subsequence Katsuya Kawanami 他

- サプライチェーン形成における小売・製造業者間でのジャンプ過程を含む需要時系列の情報共有に関する均衡分析と応用 時永祥三 他

- 2本の時系列データの類似部分自動抽出法の提案 — fNIRS 時系列データに対する検討 — 廣安知之 他

- 運転者に対する交通安全支援のための指向性アンテナおよび車車間通信を用いた歩行者の位置推定手法 木谷友哉 他



CONTENTS

Preface

A 60-year-old Manga Artist Tackled Statistics

Mitsuru SUGAYA (Manga Artists, Novel Author / Kyoto Seika Univ.)

Special Article

1320 A Background to Shellshock

Ryuichi UEDA (Advanced Institute of Industrial Technology)

Special Features

Toward Fair Use of the Personal Data : Overview of the Regulations and Technologies

1332 0. Foreword

Hiroshi NAKAGAWA (The Univ. of Tokyo)

1337 1. The Status of EU Consideration on Personal Data Protection Regal Frameworks

Haruo TAKASAKI (KDDI Reserch Institute, Inc.)

1346 2. The Current Circumstances on the Protection of Privacy in the United States

Kaori ISHII (Univ. of Tsukuba)

1353 3. The Proposed Revision of Personal Data Protection Act

Ryoji MORI (Eichi Law Offices)

1361 4. Information Control by Individuals : For the Sake of Personal Data Ecosystem

Kazue SAKO (NEC Corp.)

1368 5. Social Fairness and Neutrality in Data Mining

Toshihiro KAMISHIMA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

1373 6. A Study for Protection and Use of Person Trip Record

Katsumi TAKAHASHI (NTT Secure Platform Labs.)

Reports

1324 20th-generation Mitoh Super Creators

Ikuo TAKEUCHI (IPA, Senior Project Manager of Mitoh Program)

Articles

1382 Introduction to OpenFlow Programming

Kazuya SUZUKI (NEC Corp.)

1390 Practical Security of Quantum Cryptography

Toyohiro TSURUMARU (Mitsubishi Electric Corp.) and Kiyoshi TAMAKI (NTT Corp.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

1381 Between Virtual and Real Worlds

Kenichi OKADA (Keio Univ.)

"Peta-gogy" for Future

1399 Lecture for Renewal of Teaching License

Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

1400 Nationwide Survey of Information Education as General Education

Shigeto OKABE (Hokkaido Univ.)

1404 Information Environment and Information Studies at the Kudan Secondary School

Takeharu TASAKI (Kudan Secondary School)

1408 Biblio Talk

1410 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine

1412 Conference Report

1415 Conference Report



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

会員募集中!!



申込／照会先 一般社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「テクノロジー、テクノロジスト、テクノロジー学会の未来」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■テクノロジーの未来についてのいくつかの懸念事項の話は、自分の感じていることとマッチし、共感しました。(匿名希望)

特別解説「チューリングテスト『合格』のシステム」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■冷静な視点での解説が良かった。(匿名希望)

■専門の方による記事を興味深く読ませていただいた。ただ、問題範囲の設定とエンジニアリングの重要性について不当に低く評価されている。両視点は、実用化においては影響が大きく、学術的な調査・検討の進展を期待。(匿名希望)

特集「サイバーフィジカルシステム」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■話が抽象的すぎる。もっと初心者に分かりやすく記述してほしい。Web上の記事の方が分かりやすい。(高木 淳)

■具体的な事例紹介数を増やしたいという意図は分かりますが、それぞれの記事の分量が少なく、もう少し踏み込んだ説明があると良かった。(匿名希望)

■従来のような概念論や事例紹介に終始するのではなく、CPSの基礎を説明するなど、学問としての体系化の状況も紹介しようという部分があり、特集として非常に良かった。他方、この分野もまだまだだという気がした。(匿名希望)

■2～3ページのフォーマットの記事は読みやすさという点では新しい試みで良いと思ったが、全体的には内容がやや深みに欠ける上に、参考文献などが不足している。(匿名希望)

「1. サイバーフィジカルシステムの概要と動向」

■納得できた。CPSとそうでないものを区別しようとする努力がうかがえた。(匿名希望)

■概要というよりトピックに見えました。事例・関連技術の広がりについて俯瞰的な説明を期待しました。(匿名希望)

■著者は、リアルタイム性がCPSに必要な不可欠と述べている。「3. フィールド実証実験(FOT)に向けて」から「9. フィールドサーバとウェアラブル端末による農作業情報共有の試み」の解説で、それぞれの応用や対象において、何をリアルタイム性で見なしているのか、またそれぞれのリアルタイム性の程度について簡単な言及が欲しかった。(牛島和夫)

「4. 実体情報学が拓く世界」

■工房に学ぶ16人の学生の明日が楽しみです。(酒井保良)

「5. 次世代CPSのためのソフトウェアインフラストラクチャ」

■推敲不十分なために、修飾語と被修飾語の対応が読みながらすぐには分からない。読んでずっと頭に入らない文が散見された。著者が言いたいことは何かを考えるために、しばし戸惑った。また、「説得的ディスプレイ」図-2が与えられているが、図の説明がないので働きがよく分からない。(牛島和夫)

「6. 家電の常時接続」

■「役に立つ・魅力的なサービス」について言及してほしい。(酒井保良)

■参考文献がなく興味を持っても調べることができない。

(匿名希望)

「8. クルマの自動走行」

■もう少し突っ込んだ内容が良かった。(匿名希望)

特集「ビッグデータ：世界を変えていくイノベーションの原動力として」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■p.957右欄に「著者らおよび著者の勤務するCloudera」という記述がある。「著者ら」と「著者」の関係はどうなっているのだろうと疑問に思った。一方、p.976右欄に「筆者らおよび筆者らの属するCloudera」という記述がある。この解説は単著であるので「筆者ら」というのは曖昧な表現だと思う。「ら」にはどういう人たちが含まれているのだろうか。(牛島和夫)

■特定の製品、サービスについての記述が見られる。少なくともただ製品説明だけでなく、ユーザ事例で得た知見なども欲しい。(匿名希望)

「3. クラウドサービスを用いたビッグデータ活用事例」

■p.974左欄「Amazon EC2は、2013年11月、TOP500において、約480TFLOPSの能力を持つスパコンとしても認定され登録されている」という記述には感慨を覚えた。(牛島和夫)

解説「『ウェアラブル』の未来予想図」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■次世代のインタフェースに対する興味が引き立てられました。(匿名希望)

解説「MMTにより実現される4K/8K放送システム」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ MMTの標準化が完了したとは大変喜ばしい。次は放送システムなど実装されるものについての解説を読みたい。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：人間力を磨くことが成功への鍵！」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 情報処理、情報教育への関連性が低すぎる。括弧書き独自用語が多用された悪文である。議論の妥当性についても多くの疑問が残る。(匿名希望)

トピックス「研究会推薦博士論文速報」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 他の学会でも実施してほしい。大変刺激になる。(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 「職場での女性の活躍」は解決が難しい難問。仕事には、労働集約的な側面があり、働く時間に制限がない人材が、制限がある人材より優先される。女性が勝つには、個人ではなく組織で勝てる職場環境が必要で、職場内の女性の比率を上げることは、これに合致する。女子部がんばれ！(匿名希望)

■ FIT2014のイベント企画には残念ながら参加できなかったのですが、当日のパネル討論の様子のご報告があればうれしく思います。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■ 今号では、JABEEについての論考が掲載されており、たいへん

参考になりました。

(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ 情報処理と芸術。

(匿名希望)

■ 情報科学という枠組みは今までのままで良いのか。画像処理や機械学習、制御理論など、狭い意味での情報科学に含まれていなかった領域もコンピュータ技術の発展に伴い情報科学に密接に関連し、重要性を増していくと考えられますが、そういった流れとどう向き合えば良いか。(柴田直樹)

■ 量子コンピュータの研究と実用化の最新状況。

(稲本 康)

■ 国内で蔓延する差別とネットワークとの技術的・歴史社会的な関係。(匿名希望)

■ 「ICTは、戦争や紛争の抑止・解決に役立つか？」をテーマに、ディベートを開催し、有識者のご意見をいただいて、特集記事に仕立てていただきたい。(酒井保良)

■ SDNをはじめとして、従来ハードウェアであったものをソフトウェアで定義する流れの動向について。(匿名希望)

■ 電子投票。

(匿名希望)

■ AI系、deep learning系の特集。

(匿名希望)

■ ウェアラブル端末の応用展開に興味があります。ぜひ、さまざまな活用事例を踏まえて紹介をしていただければと思います。

(菅野純一)

【本欄担当 目黒豊美、掛下哲郎/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これらのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「社会に浸透していくコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html	11月28日(金)		
	2014年度喜安記念業績賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/kiyasu_boshu2014.html	12月5日(金)		
	論文誌「E-Service and Knowledge Management toward Smart Computing Society」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-T.html	12月19日(金)		
11月18日(火)	第160回データベースシステム・第131回システムソフトウェアと オペレーティング・システム・第35回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs160os131emb35.html	10月6日(月)	当日のみ	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月19日(水) ~	第7回 Web とデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2014)	8月22日(金)		芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月20日(木)	http://db-event.jp.org/webdbf2014/			
11月19日(水) ~	第26回コンピュータシステム・シンポジウム	8月29日(金)		芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月20日(木)	http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2014			
11月20日(木) ~	第150回アルゴリズム研究発表会	9月12日(金)	当日のみ	大演信泉記念館
11月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al150.html			
11月20日(木) ~	第73回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第59回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb173its59.html	9月19日(金)	当日のみ	福岡大学
11月21日(金)				
11月20日(木) ~	第157回グラフィックスとCAD・第194回コンピュータビジョンと イメージメディア合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg157cvim194.html	9月22日(月)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
11月21日(金)				
11月20日(木) ~	第8回デジタルコンテンツクリエイション・ 第105回音楽情報科学合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc8mus105.html	10月10日(金)	当日のみ	筑波大学
11月21日(金)				
11月21日(金)	第12回セキュリティ心理学とトラスト・第66回電子化知財・ 社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt12eip66.html	9月28日(日)	当日のみ	新潟大学 駅南キャンパス 「ときめいと」
11月21日(金)	第96回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd96.html	10月23日(木)	当日のみ	セコム本社 セコムホール
11月26日(水) ~	第168回システムとLSIの設計技術研究発表会	9月7日(日)	当日のみ	ビーコンプラザ
11月28日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm168.html			
11月27日(木) ~	グループウェアとネットワークサービスワークショップ 2014	9月22日(月)		ニューウェルシティ 湯河原
11月28日(金)	http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2014/			
12月1日(月)	連続セミナー 2014 第6回「アナリティクス適用事例」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月3日(水)	東海支部主催講演会「質問応答システム ～最新動向と開発事例～」 http://www.ipsj-tokai.jp/		参加無料 会員外の方も参加可	東桜会館
12月4日(木) ~	第7回インターネットと運用技術シンポジウム	9月11日(木)		立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
12月5日(金)	http://iot.ipsj.or.jp/iots/2014/			
12月4日(木) ~	第87回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	10月17日(金)	当日のみ	大阪大学中之島センター
12月5日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm87.html			
12月5日(金)	第67回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec67.html	10月12日(日)	当日のみ	東京理科大学 葛飾校舎
12月6日(土) ~	第127回コンピュータと教育研究発表会	10月23日(木)	当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
12月7日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce127.html			
12月8日(月) ~	第130回情報システムと社会環境研究発表会	10月19日(日)	当日のみ	産業大学院大学
12月9日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is130.html			
12月6日(土)	Exciting Coding! 2014 ~ IT スペシャリストが語る「つながる」開発の面白さ~ http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2014/Exciting_Coding/		12月4日(木) 定員になり次第	GMO Yours
12月8日(月) ~	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	8月11日(月)		出雲・玉造温泉 ホテル玉泉
12月10日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html			
12月9日(火) ~	第205回計算機アーキテクチャ・第147回ハイパフォーマンス コンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc205hpc147.html	10月10日(金)	当日のみ	小樽経済センターホール
12月10日(水)				
12月9日(火) ~	第101回数値モデル化と問題解決研究発表会	10月14日(金)	当日のみ	奈良女子大学
12月10日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps101.html			
12月13日(土) ~	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2014」 http://jinmoncom.jp/sympo2014/		当日可	一橋講堂 / 国立情報学研究所
12月14日(日)				
12月15日(月)	第177回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics177.html	11月4日(火)	当日のみ	株式会社ドワンゴ 14階セミナールーム
12月15日(月)	情報アクセスシンポジウム 2014 http://www.ipsj-ifat.org/index.php?id=99			国立情報学研究所
12月15日(月) ~	第104回音声言語情報処理研究発表会	10月23日(木)	当日のみ	東京工業大学 すずかけ台キャンパス
12月16日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp104.html			
12月16日(火) ~	第219回自然言語処理研究発表会	10月23日(木)	当日のみ	東京工業大学 すずかけ台キャンパス
12月17日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl219.html			
12月18日(木)	第40回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio40.html	10月30日(木)	当日のみ	産業技術総合研究所
12月19日(金) ~	第34回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	10月24日(金)	当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
12月20日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec34.html			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2015 年				
	2014 年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/topics/nagao_boshu2014.html	1 月 9 日 (金)		
	論文誌「ヒューマンファクタを考慮したセキュリティとプライバシー」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-Y.html	2 月 27 日 (金)		
1 月 9 日 (金) ~	第 56 回プログラミング・シンポジウム			ラフォーレ倶楽部
1 月 11 日 (日)	http://www.ipsj.or.jp/prosym/			伊東温泉湯の庭
1 月 13 日 (火) ~	第 102 回プログラミング研究発表会	11 月 14 日 (金)	当日のみ	宮崎大学
1 月 14 日 (水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro102.html			木花キャンパス
1 月 14 日 (水) ~	第 161 回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	11 月 14 日 (金)		箕面観光ホテル
1 月 15 日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci161.html			
1 月 20 日 (火) ~	The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous			ロワジールホテル函館
1 月 22 日 (木)	http://www.icmu.org/icmu2015/			
1 月 22 日 (木) ~	ウィンターワークショップ 2015・イン・宜野湾			カルチャーリゾート
1 月 23 日 (金)	http://www.sigse.jp/2015/			フェストーネ
1 月 22 日 (木) ~	第 195 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	11 月 3 日 (月)	当日のみ	奈良先端科学技術
1 月 23 日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim195.html			大学院大学
1 月 26 日 (月) ~	Annual Meeting on Advanced Computing System and	9 月 26 日 (金)		つくば国際会議場
1 月 28 日 (水)	Infrastructure (ACSI) 2015 http://acsi.hpcc.jp/2015/			
1 月 29 日 (木) ~	第 206 回計算機アーキテクチャ研究発表会	11 月 7 日 (金)	当日のみ	慶應義塾大学
1 月 30 日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc206.html			
2 月 3 日 (火)	ソフトウェアジャパン 2015 http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2015/		1 月 23 日 (金)	タワーホール船堀
3 月 12 日 (木) ~	第 187 回ソフトウェア工学研究発表会		当日のみ	化学会館
3 月 13 日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se187.html			会議室
3 月 17 日 (火) ~	情報処理学会 第 77 回全国大会	講演申込登録		京都大学
3 月 19 日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/	11 月 21 日 (金) 19:00		吉田キャンパス
9 月 15 日 (火) ~	FIT2015 第 14 回情報科学技術フォーラム			愛媛大学
9 月 17 日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/			城北キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10 月 15 日 人材募集情報 (Vol.55 No.11)
- 10 月 15 日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.11)
- 10 月 15 日 デジタルプラクティスが Newsstand で読めるようになりました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■北星学園大学経済学部経営情報学科

募集人員 専任講師または准教授 1名

専門分野 システム開発論

担当科目 「プログラミング」、「ソフトウェア開発論」、「システム設計論」、「アプリケーション論」、「シミュレーション論」および「演習科目」を担当できる方

応募資格 (1) 本学の規定による資格を有する方（別紙）、(2) 採用時点で40歳未満の方（職務経験不問）※年齢制限の設定は、長期連続雇用によるキャリア形成を図るためです（雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号イ）

着任時期 2015年4月1日

提出書類 (1) 履歴書・業績書・応募シート（本学所定様式・本学Webページ（http://www.hokusei.ac.jp/site_information/recruit/）からご参照ください）、(2) 主な著書・論文等（5編以内、コピー可）※各提出業績について、400字程度の要約（日本語）を添付すること（書式を問わず）、(3) 上記担当科目（演習科目を除く）に関するシラバス（授業計画）案 ※シラバス作成にあたっては、本学WebページのCAMPUS GUIDE Webより講義要項を参照のこと

応募締切 2014年11月28日（必着）

送付先 〒004-8631 北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1 北星学園大学経済学部長 原島正衛 「システム開発論 応募書類」と朱書き書留書式請求および照会先 研究支援課 E-mail: gakumu@hokusei.ac.jp Tel(011)891-2731（代）Fax(011)896-7660

その他 選考方法：本学教育職員の採用および昇格の選考に関する規定による（書類審査の上で面接を行い、2015年1月末までに、採否の決定を本人宛に通知する）

待遇：北星学園給与規定により待遇される

本学はキリスト教（プロテスタント）に精神的基盤をおく大学であり、この点についての理解が望まれます。なお、本学の概要についてはWebページ（<http://www.hokusei.ac.jp/>）をご覧ください。また、提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません

■埼玉工業大学工学部情報システム学科

募集人員 専任講師または准教授 1名（任期なし・ただし、65歳で定年とする）

専門分野 コンピュータグラフィクス、可視化、メディア情報処理

担当科目 CG、マルチメディア、情報システム概論、展開情報処理実験など

応募資格 (1) 博士の学位を有する方または着任までに取得見込みの方、(2) コンピュータグラフィクス、可視化、メディア情報処理で研究業績があり独自の研究展開ができる方（必須ではないがACM SIGGRAPH, ACM Transactions on Graphics, IEEE Transactions on Computer Graphics and Applications, IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics, Computers & Graphics(Elsevier)等に掲載された研究論文のある方が望ましい）、(3) コンピュータグラフィクス、可視化、メディア情報処理で教育、研究指導のできる方、(4) 大学院の授業科目も担当可能な方・民間企業や公的研究機関などで開発・設計・制作の実務を経験されている方も歓迎します

着任時期 2015年4月1日

提出書類 (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト（学術論文：査読の有無を明記し共著の場合は全著者併記、国際会議論文、解説、著書、特許、科研費等外部資金獲得状況、受賞歴などに分けて記載）、(3) 研究活動概要（これまでの研究テーマと成果）、(4) 主要論文別刷（3編以内、コピー可）、(5) 着任後の教育と研究に対する抱負（各1000字程度）、(6) 推薦書1通または所見を求め得る方のお名前と連絡先

応募締切 2014年12月1日（必着）

送付先/照会先 〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690 埼玉工業大学工学部情報システム学科 学科長 松井章典 E-mail: matsui@sit.ac.jp Tel(048)585-2521（代）

その他 募集の詳細は、本学Webページ（<http://www.sit.ac.jp/general/recruit.html>）をご覧ください

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 教授、准教授または助教 3名
 専門分野 人工知能、計算科学、離散構造の分野から各1名
 応募資格 Webページを参照ください
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類および送付先 Webページを参照ください
 応募締切 2014年12月5日(必着)
 照会先 情報工学科 学科長 徐海燕 E-mail: xu@fit.ac.jp Tel(092)606-4482
 その他 Webページ (http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/)

■早稲田大学理工学術院大学院情報生産システム研究科

募集人員 教授、准教授あるいは講師 1名(任期には期限があります(3年間)。任期終了前の学内審査を経て、2年間の再任用を行うことがあります。なお、2013年4月1日以降に何らかの資格で本学と雇用契約があった方は、雇用期間や再任用の有無・期間について、上記のとおりとならない場合がありますので、必ず応募前にご連絡ください)
 専門分野 SoCの設計技術および集積システムと応用にかかわる次のような分野: LSI設計、マルチメディアシステム、組込みシステム、アプリケーション SoC、LSI応用アルゴリズム、アナログ・ミックスドシグナル、LSI実装
 講義担当 システムLSI概論、および上記専門分野に関連する講義・演習・実験・研究指導。なお、これらを日本語と英語で実施できることが必須です
 応募資格 博士またはPh.D.の学位を有した上で(着任時点で学位取得見込みを含む)、当該分野において優れた業績が認められ、国内外において指導的役割を果たすことが期待できる方。それとともに学生の教育に情熱を持って取り組める方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(氏名(ふりがな)、生年月日、現住所、連絡先(郵送連絡先住所、電話・Fax番号、E-mailアドレス)、学歴(高等学校入学以降)、博士(またはPh.D.)の学位取得年月(受領大学)、資格ならびに賞罰、職歴を記載してください)、(2)教育研究業績リスト(I. II. IIIの項目について、最近のものから順に、題名、発行または発表年月、発行または発表個所、掲載誌名等をA4用紙で記載してください(形式自由))、I.教育活動(1.教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)、2.作成した教科書、教材、参考書、3.教育方法・教育実践に関する発表、講演等、4.その他、教育活動上特記すべき事項)、II.研究活動(1.著書、2.修士論文・博士論文・論文、3.学会発表、4.文部科学省科研費および公的資金による研究課題(研究代表者)、5.その他、研究活動上特記すべき事項)、III.学会等および社会における主な活動、(3)主要論文別刷(5編、コピー可)、(4)着任後の抱負・見解(A4用紙2枚程度、形式自由) 本学に任用された場合の、今後の研究計画および教育活動に関する展望と抱負、考え方などを記載してください、(5)応募者について参考意見を伺える方:2名(氏名、所属・役職、住所、電話・Fax番号、E-mailアドレス)
 応募締切 2014年12月5日(当日消印有効)
 送付先 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7 早稲田大学理工学術院大学院情報生産システム研究科事務室 吉増
 Tel(093)692-5017 Fax(093)692-5021 「教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
 照会先 情報生産システム研究科集積システム分野 主任 吉増敏彦 E-mail: yoshimasu@waseda.jp Tel(093)692-5358
 その他 早稲田大学理工学術院大学院情報生産システム研究科Webページ (<http://www.waseda.jp/ips/>)
 待遇: 早稲田大学の規程によります
 採用方法: 第一次選考は提出書類により行います。第一次選考を通過された方を対象として、第二次選考(面接・プレゼンテーション)を本研究科において2014年12月~2015年1月上旬に実施することがあります。その際の旅費等は各自ご負担願います
 「早稲田大学は、国際化、男女共同参画などダイバーシティの実現を推進している。教員採用・昇進の人事審査において、国籍、性別、心情、障がい等を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせている」
 “Waseda University is committed to enhancing the diversity of its faculty in order to promote globalization and gender equality on campus. In all matters related to faculty recruitment and promotion, the University prohibits any form of discrimination on the basis of national origin, gender, religion, creed, political affiliation, or disability.”

■岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻

募集人員 教授 1名
 所属 計算機科学講座
 専門分野 知能ソフトウェア基礎学等の情報学の分野
 応募資格 (1)博士の学位を有すること、(2)専門分野において優れた研究業績を有すること、(3)教育・研究・講座運営に対して十分な能力と熱意があること
 着任時期 2015年4月1日以降のできる限り早い時期
 応募締切 2014年12月12日(必着)
 送付先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座 主任 尺長 健
 「計算機科学講座教員応募書類」と朱書き簡易書留
 照会先 計算機科学講座 高橋規一 E-mail: takahashi@cs.okayama-u.ac.jp Tel(086)251-8179
 その他 提出書類など詳細はWebページ (http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html) をご参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員	准教授または助教 1名
専門分野	生体情報システム工学分野
学 科 目	システム工学、情報工学
担当科目	情報リテラシー、生体情報計測学、生体システム論、センサ情報処理、情報システム基礎実験、システム情報工学実験、卒業研究等
応募資格	専門分野の研究業績があり、以下の各項に該当する方 1) 博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方、2) 大学院の教育、研究指導の可能な方、3) 実験や研究で実践的な学生指導ができる方が望ましい、4) 教育歴のある方が望ましい
着任時期	2015年4月1日
提出書類	(1)履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、(2)研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること、また、外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること)、(3)主要論文別刷(5編程度)、(4)これまでの研究概要と今後の研究計画(A4用紙1枚程度)、(5)教育歴(これまでの担当科目や役職、教育改善の取り組み、オープンキャンパスなどでの展示、出前講義などについてもあれば記載すること)、(6)教育に対する抱負(本学科はJABEEを推進しています)(1000字程度)、(7)応募者について問合せのできる方2名の氏名、所属、連絡先 ※紙での提出のほか、電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください。ただし、(3)は任意
応募締切	2014年12月24日(必着)
送 付 先	〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員(生体情報システム工学分野)応募書類在中」と朱書き簡易書留 ※原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
照 会 先	情報システム工学科 学科長 吉田耕一 E-mail: k-yoshida@fit.ac.jp Tel(092)606-4991(ダイヤルイン) Fax(092)606-0754(学科事務室)
そ の 他	本学は65歳定年です。また、助教も独立した研究室を持ち、研究費も配分されます

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

2014 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (http://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、1994年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は36研究会の主査から推薦された計52編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、理事会（2014年8月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の下記受賞者には、3月17日に京都大学で開催される第77回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

【コンピュータサイエンス領域】

- 大規模時系列データからの特徴自動抽出
[データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2014) (2014/3/4)] (データベースシステム研究会)
櫻井保志君 (正会員)
 - 2-Hop ラベルの直接的な計算によるグラフ最短経路クエリ処理の効率化
[データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2014) (2014/3/5)] (データベースシステム研究会)
秋葉拓哉君 (学生会員)
 - ソフトウェア要求仕様書の第3者インスペクション方法論とその実践評価
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム (SES2013) (2013/9/9)] (ソフトウェア工学研究会)
斎藤 忍君 (正会員)
 - Smith-Waterman アルゴリズムを利用したギャップを含むコードクローン検出
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム (SES2013) (2013/9/10)] (ソフトウェア工学研究会)
村上寛明君 (学生会員)
 - 高次元トポロジ NoC の配線長最小化手法
[2013-ARC-206 (2013/7/31)] (計算機アーキテクチャ研究会)
藤原一毅君 (正会員)
 - Triple-helix Writeback : Reducing Inner-Bankgroup Contention in DDR4 SDRAM Memory System
[2013-ARC-206 (2013/8/1)] (計算機アーキテクチャ研究会)
細川航平君 (正会員)
 - GPU の完全仮想化
[2013-OS-126 (2013/7/31)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)
鈴木勇介君 (正会員)
 - 適応的速度制御における連続時間マルコフ過程を用いた故障発生時間評価手法
[DA シンポジウム 2013 (2013/8/21)] (システムと LSI の設計技術研究会)
飯塚翔一君 (学生会員)
 - 2 相ハンドシェイクプロトコル非同期式回路向けマルチクロック・マルチエッジトリガ・フリップフロップの提案
[2013-SLDM-162 (2013/10/7)] (システムと LSI の設計技術研究会)
今井 雅君 (正会員)
 - メニーコア・プロセッサにおける動的スレッド数切替え手法
[2013-HPC-140 (2013/8/2)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
福本尚人君 (正会員)
 - 不揮発性メモリを用いた Hybrid-BFS アルゴリズムの最適化と性能解析
[2014-HPC-143 (2014/3/3)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)
岩渕圭太君 (学生会員)
 - バックトラックによる正規表現マッチングの時間計算量線形性判定
[(2014/1/14)] (プログラミング研究会)
杉山 聡君 (正会員)
 - データ研磨によるクリーク列挙クラスタリング
[2014-AL-146 (2014/1/31)] (アルゴリズム研究会)
宇野毅明君 (正会員)
 - Twitter におけるユーザの興味と話題の時間発展を考慮したオンライン学習可能なトピックモデルの提案
[2013-MPS-95 (2013/9/26)] (数理モデル化と問題解決研究会)
佐々木謙太郎君 (学生会員)
 - 適応型スケジューリングによる平均応答時間の短縮法—実行時間見積り方法の影響—
[組込みシステムシンポジウム (ESS2013) (2013/10/18)] (組込みシステム研究会)
田中清史君 (正会員)
- ### 【情報環境領域】
- ストレージ・ネットワークの直接転送エンジンを用いた SSD キャッシュサーバの提案
[2013-DPS-157 (2013/10/18)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
後藤真孝君 (正会員)
 - 端末状態の監視により端末利用状況に合わせた CPU 周波数制御を行う携帯端末向け省電力手法
[DPS ワークショップ 2013 (2013/12/6)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)
野呂正明君 (正会員)
 - 選択肢ログ：意志決定支援のための選択を対象としたライフログ
[2013-HCI-153 (2013/5/24)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)
小山純平君 (学生会員)
 - 流体の流れ場のインタラクティブなデザイン
[Visual Computing / グラフィクスと CAD 合同シンポジウム 2013 (2013/6/22)] (グラフィクスと CAD 研究会)
佐藤周平君 (正会員)

- イラストスタイルの認知的分類に基づく識別モデルの構築
[2013-CG-152 (2013/9/9)] (グラフィクスとCAD研究会)
栗山 繁君 (正会員)
 - ソーシャルメディアにおける情報伝播ネットワークの可視化とアプリストアに与える影響についての統計的解析
[2013-IS-126 (2013/12/2)] (情報システムと社会環境研究会)
細江成洋君 (正会員)
 - 確率的訪問 POI 分析: 時空間行動軌跡からのユーザモデリング
[マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム (DICOMO2013) (2013/7/10)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
西田京介君 (正会員)
 - 解像度を維持する Bullet Time の生成と評価
[2014-GN-90 (2014/1/23)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)
坂本竜基君 (正会員)
 - 統合利用を目的とした地域史資料の LOD 化
[2014-DD-93 (2014/3/29)] (デジタルドキュメント研究会)
奥野 拓君 (正会員)
 - カメラ間通信を用いた無線マルチビューストリーミングの検討
[2013-MBL-68 (2013/11/15)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
小寺志保君 (学生会員)
 - HASC-IPSC: 屋内歩行センシングコーパス
[2014-MBL-70 (2014/3/14)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)
梶 克彦君 (正会員)
 - 並列 Gauss Sieve アルゴリズムを用いた 128 次元イデアル格子の最短ベクトル問題の求解
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2013) (2013/10/21)] (コンピュータセキュリティ研究会)
石黒 司君 (正会員)
 - SNS 上のプライバシーセンシティブ情報の漏洩検知に基づく公開範囲の設定方式
[コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2013) (2013/10/22)] (コンピュータセキュリティ研究会)
町田史門君 (学生会員)
 - 案内サインを活用した駅構内ナビゲーションシステムの開発と評価
[2013-ITS-55 (2013/11/14)] (高度交通システムとスマートコミュニティ研究会)
日高洋祐君 (正会員)
 - 途上国における予防医療を実現するポータブルヘルスクリニックシステムの構築
[2013-UBI-39 (2013/7/31)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
野原康伸君 (正会員)
 - 動作・人物・場所情報の超音波を用いた音声データへの埋め込み手法
[2013-UBI-39 (2013/7/31)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)
渡邊拓貴君 (学生会員)
 - SAML 連携を行う PAM に基づく SSO 認証対応 Web メールシステムの開発
[2013-IOT-22 (2013/8/1)] (インターネットと運用技術研究会)
大谷 誠君 (正会員)
 - mod_ruby: スクリプト言語で高速かつ省メモリに拡張可能な Web サーバの機能拡張支援機構
[インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2013) (2013/12/13)] (インターネットと運用技術研究会)
松本亮介君 (学生会員)
 - 暗号技術の信頼情報を提供するクライアント側機構とユーザインタフェースの提案
[2014-SPT-8 (2014/3/28)] (セキュリティ心理学とトラスト研究会)
金岡 晃君 (正会員)
 - ポリシーベース電力制御のためのスマートタップの設計と実装
[2013-CDS-7 (2013/5/23)] (コンシューマデバイス&システム研究会)
森本尚之君 (正会員)
 - 短編 3DCG アニメーション "Fossil Tears —融心石—"
[2013-DCC-4 (2013/6/27)] (デジタルコンテンツクリエイション研究会)
牧宗歩美君 (正会員)
- [メディア知能情報領域]**
- 日本語述語項構造アノテーションに関わる諸問題の分析
[2013-NL-214 (2013/11/15)] (自然言語処理研究会)
松林優一郎君 (正会員)
 - Smart Access Vehicles の社会実装—シミュレーションを通じた分析と実証—
[2014-ICS-174 (2014/3/2)] (知能システム研究会)
小柴 等君 (正会員)
 - 部分空間法の応用と魅力
[2013-CVIM-188 (2013/9/3)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
堀田政二君 (正会員)
 - 焦点距離の異なる複数パターンを投影可能なプロジェクタによる Depth from Defocus 手法
[2014-CVIM-191 (2014/3/4)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)
益山 仁君 (学生会員)
 - PenFlowchart によるプログラミング導入教育の評価
[2013-CE-121 (2013/10/12)] (コンピュータと教育研究会)
中西 渉君 (正会員)
 - 「LINE 外し」ロールプレイングによる情報社会に参画する態度の育成
[2013-CE-122 (2013/12/14)] (コンピュータと教育研究会)
中野由章君 (正会員)
 - 日付を表す文字列の解釈と暦の変換—暦に関する統合基盤の構築に向けて
[人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん 2013) (2013/12/13)] (人文科学とコンピュータ研究会)
関野 樹君 (正会員)
 - ピアノの両手運指モデルによる合奏曲のピアノ用自動編曲手法
[2013-MUS-101 (2013/12/24)] (音楽情報科学研究会)
中村栄太君 (正会員)

●連続励起振動楽器を対象とした音量軌跡のダイナミクスとアーティキュレーションへの分解法
[2014-MUS-102 (2014/2/24)] (音楽情報科学研究会)
小泉悠馬君 (正会員)

●生成型アプローチによる Latent Words Language Model の N-gram 近似
[2013-SLP-97 (2013/7/26)] (音声言語情報処理研究会)
増村 亮君 (正会員)

●3D プリンタの法的問題序説
[2014-EIP-63 (2014/2/21)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)
須川賢洋君 (正会員)

●生物学的制約の導入による「人間らしい」振る舞いを伴うゲーム AI の自律的獲得
[ゲームプログラミングワークショップ (GPWS2013) (2013/11/9)] (ゲーム情報学研究会)
藤井叙人君 (学生会員)

●lapillus bug : 音響浮揚による粒子の空中移動制御とインタラクション
[エンタテインメントコンピューティング 2013 (EC2013) (2013/10/4)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
河野通就君 (学生会員)

●COMP*PASS : 実世界での図形のコピー&ペーストを可能にするコンパスの拡張
[2014-EC-31 (2014/3/15)] (エンタテインメントコンピューティング研究会)
中垣 拳君 (学生会員)

●動力的因果モデリングにおける神経スパイク交差コレログラム解析について
[2013-BIO-34 (2013/6/28)] (バイオ情報学研究会)
大羽成征君 (正会員)

●SDN によるネットワーク構築実習における分散型実習環境管理システムの開発
[2013-CLE-11 (2013/12/14)] (教育学習支援情報システム研究会)
牛込翔平君 (正会員)



IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通 (原則毎週月曜日配信)
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ (目次の上)
フッタ (本文の最下行)
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円 (税込 54,000 円) ※ 3 社限定
フッタ：1 回 20,000 円 (税込 21,600 円)
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1 月 10 日 (火)・11 日 (水)・12 日 (木) 13:00 ~ 17:00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

「DP レポート」 創刊と投稿のご案内

<http://www.ipsj.or.jp/DPreport/>

DP レポートで皆様のプラクティスを発信してみませんか

これまでのデジタルプラクティス誌とは全く違うプラクティスの雑誌「DP レポート」を2014年9月に創刊しました。そのDP レポートのユニークな特長とは：

- ・投稿された原稿はごく簡単な審査のみを経てそのままDP レポートとして出版されます。
- ・投稿から原則2週間以内で掲載されます。
- ・DP レポートとして出版された原稿あるいはその改訂版をデジタルプラクティス誌に投稿することができます。

デジタルプラクティス誌のように厳格な査読審査は行わないので、スピーディーに皆様のプラクティスを世界中に発信することができます。当学会から出版される他の論文や研究報告等と同様に、DP レポートも当学会が責任をもって半永久的に管理いたします。いわゆるテクニカルレポートに相当する出版物とだけいただければよいと思います。DP レポートは電子版のみで、掲載サイトは情報学広場 <https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/> と Apple Newsstand です。

DP レポートを利用して、自分のアイデアや技術をより多くの人々に届けてみませんか。そうすれば、自分の研究成果を使ってもらえる機会が増えるでしょう。DP レポートは参考文献として引用できますので、エンジニア個人にとって長期的なキャリアを積み重ねる手段の1つになるでしょう。また、DP レポートを技報のように利用するケース也大歓迎です。

さらに詳しくは、学会 Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/DPreport/> をご覧ください。

投稿のご案内

原稿フォーマットがDP レポート独自になっていますので、必ず下記の学会 Web サイトの原稿執筆案内をご覧の上、専用投稿テンプレートを利用して投稿原稿を作成してください。
<http://www.ipsj.or.jp/DPreport/PaperSubmission.html>

なお、DP レポートの筆頭著者は当会会員あるいは賛助会員企業に所属されている方のみとさせていただきますので予めご了承ください。

■ ■ ■ どうぞ奮ってDP レポートに投稿して、DP レポートをご活用ください。■ ■ ■

ご質問等は 情報処理学会デジタルプラクティス担当 editdp@ipsj.or.jp までお寄せください。



フォロー・
リツイート
お願いします

◎twitter で情報発信中！

情報処理学会ツイッター▶ @IPSJcom

ソフトウェア工学研究会▶ @IPSJ_SIGSE
 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会▶ @HpcCommittee
 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会▶ @ipsj_sighci
 情報基礎とアクセス技術研究会▶ @sigifat
 オーディオビジュアル複合情報処理研究会▶ @ipsj_avm
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会▶ @ipsj_sigmbi
 インターネットと運用技術研究会▶ @IPSJ_SIGIOT
 自然言語処理研究会▶ #signl
 コンピュータと教育研究会▶ @ipsjce
 音楽情報科学研究会▶ @ipsj_sigmus
 エンタテインメントコンピューティング研究会▶ @ipsj_sigec
 バイオ情報学研究会▶ @sigbiojapan



いいね！・
シェア
お願いします

◎Facebook で情報発信中！

情報処理学会ページ www.facebook.com/IPSJcom

計算機アーキテクチャ研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/
 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL
 インターネットと運用技術研究会 www.facebook.com/ipsjiot
 コンシューマ・デバイス&システム研究会 www.facebook.com/sig.cds
 電子化知的財産・社会基盤研究会 www.facebook.com/eipjp
 会員の力を社会につなげる研究グループ www.facebook.com/ssr.ipsj



協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常の DM と異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。
また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- ① 封入希望月の前月 15 日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- ② 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax 可）。
◆納品業者をお知らせください。
- ③ 納品日は封入希望月の 5 日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。
日付指定にて必要枚数（20,000 枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- ④ カatalogを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- ⑤ 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり
約17.5 円！

基本価格 350,000 円
(税込 378,000 円)

対象：全会員 20,000 通 配布
(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
共催事業は
さらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
(基本価格の 40% Off !)

210,000 円
(税込 226,800 円)

情報処理学会主催・共催事業*
(基本価格の 80% Off !)

70,000 円
(税込 75,600 円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り（その他についてはご相談ください）
用紙：色上質厚口（四六判 80kg）またはコート紙（四六判 90kg）相当

☎ 問合せ先

【広告代理店】 アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【12月10日頃までにお出しください】

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. () -
- [3] E-mail:
- [4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
 (e) 学生 (f) その他 4- []
- [5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
 (i) 学生 (j) その他 5- []
- [6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- [7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- [8] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- [9] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- [10] 今月号（2014年12月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：アラカン漫画家、統計学に挑む 10-1- []
- 特別解説：Shellshockの顛末書 10-2- []
- 報告：未踏の第20期スーパークリエイターたち 10-3- []
- 特集：パーソナルデータの利活用における技術および各国法制度の動向
1. 個人情報保護にかかわる法制度をめぐるEUの状況 10-4- []
2. アメリカのプライバシー保護に関する動向 10-5- []
3. 日本の個人情報保護法改正の状況 10-6- []
4. パーソナルデータエコシステム構築に向けて 10-7- []
5. データマイニングと社会的公正性・中立性 10-8- []
6. 個人の移動履歴の保護 10-9- []
- IT好き放題：仮想と現実の狭間で 10-10- []
- OpenFlow プログラミングへの招待 10-11- []
- 量子暗号の実装の安全性向上に向けた試み 10-12- []
- べた語義：教員免許更新講習 10-13- []
- べた語義：一般情報教育の全国実態調査（1） 10-14- []
- べた語義：九段中等教育学校における情報環境と情報教育 10-15- []
- ピブリオ・トーク：経営科学のニューフロンティア7 混雑と待ち 10-16- []
- 会誌編集委員会女子部 10-17- []
- 会議レポート：編集委員会女子部～番外編！～報告 10-18- []
- 会議レポート：SWoPP 新潟2014 開催報告 10-19- []
- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 パーソナルデータの利活用における技術および各国法制度の動向：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），DP レポート，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

本特集はプライバシー情報の利活用に向けた最新の取り組みの紹介ということで、幅広い分野の著者の方々に原稿を依頼させていただきました。依頼にあたって、まず著者の方々の連絡先を探さなければならなかったのですが、このメールアドレスの調査が非常に困難でした。昔は Web ページにメールアドレスをそのまま文字で記載していたのに対し、最近では一部を加工したり画像で添付したりするようになってきました。また、メールアドレスを公開されていない方もいらっしゃいます。これもみな、各個人が発信する情報のコントロールを心がけるようになってきたからだと思います。

より一般的なところでは 2013 年に JR 東日本の Suica データを他企業に売却するニュースが出ました。これに対してメディアでは疑念や反対が沸き起こり、最終的に売却は取りやめになりました。技術的な詳細は不明でも、Suica データには個人のプライバシー情報が多量に含まれていることに不安を感じた、というのが多くの一般の方の反応だと思われます。このような出来事を通して広く世間一般にプライバシーにかかわる意識が高まってきていることが分かります。

そこで本特集は、プライバシー保護にかかわる技術そのものだけでなく、法制度の動きや社会・ビジネスへの技術のか

かわり方にも焦点を当てて、最新動向を分かりやすく紹介することを目指しました。まずプライバシーにかかわる世界的な法制度の状況と日本での法改正の動きについては、法律の専門家であり、かつこの分野の権威である筑波大の石井先生、KDDI の高崎様、弁護士の森先生にご執筆を依頼しました。技術については、まずは最近注目されているプライバシーを消費者自身が管理する流れについて、これを専門にしておられる NEC の佐古様に依頼し、次いでプライバシーの公正な使用に関してはこの分野での日本の第一人者の産総研の神畠先生にご執筆を依頼しました。最後のビジネスに有用とされる個人の位置情報、移動履歴に関しては、このテーマで研究を推進している NTT の高橋様にこの技術の位置づけを中心にご執筆を依頼しました。

本特集を通じ、皆様が、今後の情報産業におけるプライバシー情報の利活用に向けた基礎知識の理解を深め、その方向性・展望について少しでも興味を持ていただければ幸いです。

最後に、突然の短納期の依頼にもかかわらず、原稿執筆をお引き受けくださった著者の皆様、その他執筆・編集にご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。大変、ありがとうございました。
(吉川隆英／本特集エディタ)

次号（1月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集：新年特別企画」人類と ICT の未来：シンギュラリティまで 30 年？

来るべき技術的特異点と超知能の驚異と脅威／シンギュラリティと AI の将来／シンギュラリティをめぐる論点～カーツワイル氏との対談を通じて～／シンギュラリティのもたらすビジネスインパクト／シンギュラリティ大学／シンギュラリティを起こしていくベンチャーの紹介とその活用事例：次世代を生き抜く問題解決手法としてのシンギュラリティの活用／シンギュラリティの向こうにあるもの／シンギュラリティへの哲学的逡巡／シンギュラリティ：微動だにせず／＜人間とは何か＞を超越した知性／技術的特異点へ向けてあなたと私はどうしたいか？／シンギュラリティへの疑問 SF の視点で／フェルミのパラドックスとシンギュラリティ

「特集」分野を超えたものづくりと教育—組込みシステムのためのロボットチャレンジ—

MDD/ESS ロボットチャレンジの原点—コンテスト継続の原動力—／大学における実践的教育へのチャレンジ—開かれた教育への挑戦—／ロボットチャレンジを用いた分野・地域を超えた Project-based Learning／組込みシステムのためのモデル駆動開発技術—共通問題から新しい技術へのチャレンジ—／組込みシステムの共通問題：飛行船システム競技—工学教育の基礎である計測から考察する—／制御工学から見たソフトウェアロボット製作における制御とソフトウェア／ロボットチャレンジ課題を用いた機械学習応用教育／ロボット PBL を学部導入教材として活用する—授業における実践報告—／小型飛行船を使った初等中等教育向け情報教育—情報の符号化を体験的に学習する教材：Let's Go Go! Magical Spoons—／ESS ロボットチャレンジ 10 周年座談会—参加者 OB と 10 年を振り返る—

鼎 談：編集長三人は語り尽くした！

教育コーナー：ぺた語義

連 載：古機巡礼／二進伝心／ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円 (税込 356,400 円)	—	—
表 3	275,000 円 (税込 297,000 円)	—	—
表 4	385,000 円 (税込 415,800 円)	—	—
表 2 対向	300,000 円 (税込 324,000 円)	—	—
表 3 対向	265,000 円 (税込 286,200 円)	190,000 円 (税込 205,200 円)	155,000 円 (税込 167,400 円)
前付 1 頁	250,000 円 (税込 270,000 円)	165,000 円 (税込 178,200 円)	135,000 円 (税込 145,800 円)
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円 (税込 86,400 円)
前付最終	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
目次前	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税込 297,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm× 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm× 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 55 巻 12 号 掲載広告（五十音順）

- ☐ インタフェース 表 2 ☐ すべての会社を希望
☐ 科学技術振興機構..... 表 2 対向下
☐ とめ研究所..... 表 2 対向上

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ～ 50 口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

 **MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19 口)

Google™

グーグル (株)

 **GREE**

GREE (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9 口)

NTT Data

NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)



Plat'Home

ぶらっとホーム (株)